

## 経営講演会



開会挨拶



まず、会社名と氏名を

人手不足がますます深刻化し、「働き方改革」への取り組みも求められている状況のなかで、優秀な人材を確保して適所に配置し、職員がいきいきと働くことのできる魅力ある職場づくりを推進していくことが、これからの企業経営にとって重要な課題の一つとなっています。

今年度の経営講演会は、筆跡診断士として多方面で活躍されている山上りるも氏を講師に迎え、各人の筆跡から性格、考え方、行動の傾向などを診断、的確に把握して、人事管理に活かすことをテーマとして、11月13日（火）に兵庫県中央労働センターで開催し、会員企業から経営者や幹部職員など25名の参加がありました。

講演は、2名の参加者に会場正面のホワイトボードに会社名と氏名を書いていただくことから始まり、講師がそれぞれの筆跡を参考資料も使いながら様々に楽しく分析、統計的データによっても裏付けられている筆跡特徴から見ることのできる性格や行動パターンお話へと広がっていきました。

山上講師によりますと、

- ① 筆跡は無意識にいろんな情報を発信しており、考え方や行動傾向など、うそ偽りのない自分の姿が映し出されるため、筆跡を見ればその人の金銭感覚、職業適性から病気の有無までもわかる
  - ② 筆跡診断によって自分を知り、自己変革につなげるとともに、他者を知ることによって、よりよい人間関係を築き、コミュニケーション能力がアップすれば、日常生活やビジネスの場面でもよい効果を生み出す
  - ③ 採用や人事管理に筆跡診断を活用すれば、従業員にとっても、企業にとっても、働きやすい、やりがいのある職場になって、企業の発展に結びつく
- とのことでした。

山上りるも氏の明るく、楽しく、わかりやすいお話で、筆跡診断をさまざまな場面に取り入れてみようかと思える魅力的な講演会になりました。



講師が診断



みんな熱心に



有名人の筆跡も登場